

8. 世界史を楽しむ科（2026年度） 全体テーマ：都市
（木曜日 授業予定表） 講師：同志社大学、大阪大学、岡山大学ほか

					午 前			午 後			
	回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	6	月	①	★	①入 学 式（大阪国際会議場）					
	2	4	16	木	1	初回ガイダンス／ 人類の拡散と海	移動と定住：モンゴロイドの「大航海時代」 —アフリカ大地溝帯、人類初期のアジアの定住遺跡	向正樹（同志社大学） 富田暁（岡山大学）	年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション班役割分担説明 班ごと自己紹介		
	3		23	木	2	海のシルクロード	モンスーンが繋ぐ世界—チャンパー、アンコール	富田暁(岡山大学)	コーダイオリエンテーション クラス自己紹介 班各担当 班長決定		
	4	5	7	木	3	ギリシャ・ヘレニ ズム	都市国家の割拠するギリシア世界、王国の割拠するヘレ ニズム時代—アテネ、アレクサンドリア、ベルガモン	柴田広志 (佛教大学)	自主活動 クラス委員長決定 各担当別会議（代表者決定） 遠足行先検討		
	5		14	木	4	東西ローマ世界	2つのローマと地中海世界の変容—ローマ、コンスタン ティノーブル	柴田広志 (佛教大学)	〃 班別テーマ検討		
	6		21	木	5	東アジアの古代1	「中華」の誕生—洛陽、建康（南京）	赤羽奈津子 (龍谷大学)	〃 班別テーマ検討		
	7		28	木	6	★校外学習 東アジアの古代2	遣隋使はなぜ派遣されたのか—平壤、漢城、慶州、 奈良	赤羽奈津子 (龍谷大学)	〃 班別テーマ検討		
	8		4	木	②	★	②遠 足（クラス単位で実施 日程変更可 1学期中に実施）				
	9	6	11	木	7	唐とシルクロード	唐帝国の本当の「強さ」とは？—長安（西 安）	猪原達生 (大阪大学)	自主活動 班別テーマ検討		
	10 11		25	木	8	東部ユーラシア世界 の展開	共存と繁栄の時代	遠藤総史 (志学館大学)	④社会への参加活動（準備活動）（活動事例研究）		
	12	7	2	木	9	遊牧民と中央ユーラ シア	騎馬遊牧民の誕生とその展開—統万城、平城	旗手 睦 (同志社大学)	自主活動 健康まつり説明 参加対応検討		
	13		9	木	10	モンゴル帝国	モンゴル帝国—大都（北京）	旗手睦 (同志社大学)	〃 フェスタのクラス発表テーマ内容検討		
	14		16	木	11	東アジアの近世	「大きな中国」か、「小さな中国」か	猪原達生 (大阪大学)	1学期成果発表		
			8				夏 休 み				
2 学 期	15	9	17	木	12	大航海時代	ポストモンゴルのインド洋—南京、スーラ ト、アグラ	向正樹 (同志社大学)	講師交流会 講師と受講生の交流；普段聞けなかった事を聞こ う		
	16		24	木	13	中世ヨーロッパとカ トリック世界	一千年のヨーロッパ・キリスト教世界—ローマ、 ヴィッテンベルク	石坂尚武 (同志社大学)	自主活動 健康まつり説明 参加対応検討		
	17		1	木	14	初期グローバル化と 近世	ペストから見る中近世—フィレンツェ	石坂尚武 (同志社大学)	〃 コーダイフェスタ発表準備		
	18		8	木	④	★	④コーダイ健康まつり（日程・場所 未定）				
	19	10	15	木	15	東南アジアの近世	交易の時代と「伝統」東南アジアの成立	遠藤総史 (志学館大学)	自主活動 コーダイフェスタ発表準備		
	20		22	木	16	★校外学習 堺探 訪	（仮）戦国時代の国際貿易港を訪ねる	猪原達生 (大阪大学)	〃 コーダイフェスタ発表準備		
	21		29	木	17	イスラームの成立と 発展1	新しい世界の形成—政治的中心の移動—カイ ロ	堀井優 (同志社大学)	〃 コーダイフェスタ発表準備		
	22	11	12	木	18	イスラームの成立と 発展2	再編される世界—東地中海の諸商港—カイロ	堀井優 (同志社大学)	〃 コーダイフェスタ発表準備		
	23		19	木	19	東アジア海上世界の 形成	中国の近世—海を越えて広がる城隍廟	濱島敦俊 (大阪大学)	〃 コーダイフェスタ発表準備仕上げ		
	24		25	水	⑤	★	⑤コーダイフェスタ（日程・場所 未定）				
	25	12	3	木	20	東アジアのなかの台 湾	東アジア海上世界の果実—台湾	濱島敦俊 (大阪大学)	自主活動 班別テーマ検討		
	26		10	木	21	東南アジアの植民地 化	宗主国は植民地に「良いこと」もした（残した）のか？ —シンガポール、スラバヤ	富田暁 (岡山大学)	〃 班別テーマ検討		
	27		17	木	22	自主企画講座			〃 成果発表会内容検討		
							冬 休 み				
3 学 期	28	1	14	木	23	19世紀末の世界史 における分岐点	①社会革命（＝フランス革命） ②経済革命（＝産業革命）	杉本宗子 (神戸大学)	自主活動 成果発表会準備		
	29		21	木	⑥	★	⑥社会への参加活動・・・（仮日程；1学期～3学期の間に活動日を1回設定）				
	30		28	木	24	ヨーロッパ諸国の革 命運動から誕生した 新しい政治秩序	①国境変更と新しい統一 ②現在ロシアがウクライナを侵攻する鍵をクリミア戦争か ら推測	杉本宗子 (神戸大学)	自主活動 成果発表会準備		
	31	2	4	木	25	アメリカ合衆国の誕 生	植民地から覇権国への道のり	安井倫子 (大阪大学)	〃 成果発表会準備		
	32		18	木	26	グローバル化の中で	移動する人・もの・情報を管理したい国家	安井倫子 (大阪大学)	〃 成果発表会資料まとめ		
	33		25	木	27	学習成果発表会			向 正樹 (同社大学)		
	34				⑦	⑦修了式					
	35	3	4	木	⑧	★	⑧・⑨卒 業 旅 行（クラス単位で実施 1泊2日）				
	36		5	金	⑨						
	授 業（自主企画、成果発表会					27（講座数列1～27）					
	学 習 事 業（①～⑨）					9（講座数列①～⑨）					
	合 計					36					

よ、都合により変更になる場合があります。

2025/9/13